

自民党が8日、党本部で開いた両院議員総会。歴史的大敗を喫した衆院選後、初の開催とあり、衆参の県選出議員4氏ら大半の国会議員が出席した。

だが、この間、麻生太郎首相(総裁)は一言も発しなかった。

この議論で時間を取られ、衆院選敗北の総括は一切なし。衆院選前に両

議題の一つが16日の特別国会で行われる首相指名への対応。意見集約できな

まま結論を先送りしようとした執行部に中堅・若手議員が反発。最後は執行部が押し切られる形で若林正俊両院議員総会長への投票を決定し

永田町 えひめ

院総会を開き、東京都議選など地方選連敗の総括を求めている村上誠一郎氏(愛媛2区)は「本質論を話そうと思って準備してきたけど、むなし」

自民再生へのリーダー不在

と途中退席。

同様の主張をしていた塩崎恭久氏(同1区)は会議終了までいたが「選挙戦の総括をやらない両院総会なんて聞いたことない」と言葉少なだった。

野党に転落し、解党的出直しを迫られている自民党。しかし、党内をまとめきれぬ強力なリーダーは不在のまま。再生への道のりは険しそうだ。

(k)